

長野県松本平広域公園の利活用に向けた サウンディング型市場調査の結果について

1 調査の背景及び目的

松本平広域公園は、松本空港の緩衝緑地としての機能を持ちつつ、サッカーや陸上競技など様々なスポーツの場や幅広い年齢層に対応したレクリエーションの場として、その役割を担ってきました。さらに本年4月から6月にかけて第36回全国都市緑化信州フェア「信州花フェスタ2019」が開催され、そのメイン会場としてフェアの記憶と成果を受け継ぐ花と緑の拠点といった新たな機能も備えた魅力ある公園を目指しています。

今後はさらに Park-PFI 等の導入によって公園の利活用を図り、賑わいを創出するため、事業の発案段階で幅広くアイデアを募集し、意見を伺う「サウンディング型市場調査」を実施しました。

2 経過

令和元年10月7日	実施要領の公表
令和元年11月1日	事前説明会 参加者 11 者
令和元年12月12日 ～12月19日	個別ヒアリング 参加者 10 者

3 事業提案及び意見

(1) 事業提案

- ①東エリア：ターミナルビル、やまびこドームを中心とするエリア。
緑化フェアのメイン会場であった。

・飲食店	4 件
・バーベキュー	1 件
・宿泊施設	1 件
・キャンプ場	1 件
・貸店舗	1 件
・花と緑の拠点	1 件
・アリーナ	1 件

- ②西エリア：陸上競技場や大芝生広場を中心とするエリア

・飲食店	1 件
・バーベキュー	1 件
・キャンプ場	2 件
・スポーツ施設	2 件

③南エリア：展望広場を中心とし、フェアを契機に芝桜を整備したエリア

- ・ 宿泊施設 1 件
- ・ スポーツ施設 1 件
- ・ 貸店舗 1 件

④北エリア：サンプルアルウィンを中心とするエリア

- ・ 宿泊施設 1 件
- ・ スポーツ施設 1 件

※松本平広域公園全体図



(2) 意見

- ・ 現行の管理状況が良好であり、新たな利活用を図る上では、現在の指定管理者との連携が不可欠。
- ・ 冬季の集客が課題。
- ・ 一定のリスクが見込まれるため、事業導入前にある程度長期間の試行が必要。

(3) その他

- ・ 県に費用の一部または全部を負担する提案が多数ありました。
- ・ Park-PFI 制度を活用した提案は3者からありました。

4 今後の方針

今回頂いたご意見・ご提案をもとに、本公園の利活用をさらに検討してまいります。